



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



Color & Comfort by Chemistry

平成27年11月13日

上場会社名 D I C株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4631 URL http://www.dic-global.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 義之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 二宮 啓之 TEL 03-6733-3000
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	616,426	0.3	36,901	24.4	35,552	24.8	22,994	39.9
26年12月期第3四半期	614,528	—	29,675	—	28,481	—	16,438	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 11,041百万円 (△53.4%) 26年12月期第3四半期 23,671百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	23.90	—
26年12月期第3四半期	17.61	—

当社及び一部を除く国内子会社は、平成25年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成25年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	790,739	277,637	31.7
26年12月期	803,703	276,723	31.1

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 250,773百万円 26年12月期 249,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年12月期	—	4.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	1.2	50,000	21.7	46,000	15.2	34,000	35.0	35.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料4ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「3. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	965,372,048株	26年12月期	965,372,048株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	3,476,789株	26年12月期	3,445,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	961,910,202株	26年12月期3Q	933,598,202株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況	1
(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績	1
(3) 平成27年12月期通期業績予想	3
2. 財政状態	4
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績

(1) 当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境については、北米・欧州においては、緩やかながら景気回復が継続しました。アジアにおいては、中国や東南アジアの景気は緩やかに減速しつつある一方、インドでは、景気が持ち直しています。国内においては、生産が横ばいながらも緩やかな回復基調が継続しました。

このような事業環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,164億円と前年同期比0.3%の増収となりました。

営業利益は、事業環境の好転や合理化効果などにより、369億円と前年同期比24.4%の増益となりました。

経常利益は、356億円と前年同期比24.8%の増益となりました。

四半期純利益は、230億円と前年同期比39.9%の増益となりました。

	前第3四半期 連結累計期間実績	当第3四半期 連結累計期間実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	6,145億円	6,164億円	+0.3%	△3.2%
営業利益	297	369	+24.4%	+24.0%
経常利益	285	356	+24.8%	--
四半期純利益	164	230	+39.9%	--

(注) 当第3四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均:平成27年1月～9月)は、120.67円/米ドル(前年同期:103.34円/米ドル)を適用しています。

(2) 当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位:億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3 四半期 連結累計 期間実績	当第3 四半期 連結累計 期間実績	前年同期比		前第3 四半期 連結累計 期間実績	当第3 四半期 連結累計 期間実績	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
プリンティングインキ	3,061	3,062	+0.0%	△3.7%	119	131	+9.8%	+17.4%
ファインケミカル	1,032	1,100	+6.6%	△0.3%	103	105	+1.8%	△0.0%
ポリマ	1,414	1,420	+0.4%	△2.2%	55	106	+91.6%	+82.0%
アプリケーション マテリアルズ	920	893	△3.0%	△6.0%	54	62	+16.0%	+11.6%
その他、全社・消去	△282	△311	----	----	△34	△35	----	----
計	6,145	6,164	+0.3%	△3.2%	297	369	+24.4%	+24.0%

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期比の()内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、プリンティングインキセグメントの業績にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は上記の業績数値と一致しません。

[プリンティングインキ]

・日本 売上高： 581億円 前年同期比 Δ 3.7%
営業利益： 21億円 前年同期比 Δ 11.4%

グラビアインキは第3四半期において需要の回復が見られましたが、第2四半期までの在庫調整の影響が大きく、減収となりました。オフセットインキ及び新聞インキについては需要減少の影響などを受け、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、減益となりました。

・米州・欧州 売上高： 2,056億円 前年同期比 Δ 1.2% (Δ 4.9%)
営業利益： 71億円 前年同期比 + 0.1% (+17.3%)

欧州では、パッケージ用インキは堅調に推移しましたが、出版インキ及び新聞インキが需要減少の影響を受けたことなどにより、減収となりました。北米では、出版インキ及び新聞インキが需要減少の影響を受けたことなどにより、減収となりました。中南米では通貨安の影響などもあり、減収となりました。以上の結果、若干の減収となりました。

営業利益は、合理化効果や事業環境の好転などにより、現地通貨ベースでは増益となりましたが、欧州及び新興国の通貨安の影響などにより、前年同期並となりました。

・アジア・オセアニア 売上高： 561億円 前年同期比 + 8.7% (+ 0.1%)
営業利益： 40億円 前年同期比 +65.8% (+50.8%)

中国では、景気減速による需要減少を受け、全品目で減収となりました。東南アジアでは、グラビアインキ及び新聞インキが好調に推移し、増収となりました。オセアニアではグラビアインキは好調に推移しましたが、オフセットインキ及び新聞インキが落ち込み、減収となりました。インドでは、グラビアインキは好調に推移しましたが、オフセットインキが落ち込み、前年同期並となりました。以上の結果、全体としては、増収となりました。

営業利益は、グラビアインキ拡販による品目構成の改善や合理化効果などにより、大幅な増益となりました。

[ファインケミカル]

売上高： 1,100億円 前年同期比 + 6.6% (Δ 0.3%)
営業利益： 105億円 前年同期比 + 1.8% (Δ 0.0%)

顔料は、国内ではインキ用顔料は低調ながら、カラーフィルタ用顔料が好調に推移した上、塗料・プラスチック用顔料の回復も見られ、若干の増収となりました。欧米では、主に光輝材及び化粧品用顔料が大きく伸びたことにより、増収となりました。TF T液晶は、新製品の出荷を開始しましたが、製品切り替えの端境期となったため、減収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、前年同期並に留まりました。

[ポリマ]

売上高： 1,420億円 前年同期比 + 0.4% (△ 2.2%)
 営業利益： 106億円 前年同期比 +91.6% (+82.0%)

国内では、エポキシ樹脂は底堅く推移し前年同期並となりましたが、塗料用樹脂及びポリスチレンは、需要が落ち込んだことなどから、減収となりました。海外では、主要品目の好調な出荷に加え、新規連結の効果などにより、増収となりました。以上の結果、全体としては、前年同期並となりました。

営業利益は、海外の好調な売上状況やコスト改善などにより、大幅な増益となりました。

[アプリケーションマテリアルズ]

売上高： 893億円 前年同期比 △ 3.0% (△ 6.0%)
 営業利益： 62億円 前年同期比 +16.0% (+11.6%)

インクジェットインキはシェアが拡大したことから、増収となりました。PPSコンパウンドは、国内の売上が若干落ち込みましたが、海外で出荷が順調に拡大し、前年同期並となりました。工業用粘着テープは、スマートフォン向け需要の一時的な停滞により、減収となりました。その他の品目においても需要の回復が見られず、減収となりました。以上の結果、全体としては、減収となりました。

営業利益は、高付加価値品の伸びや円安の影響などにより、増益となりました。

(3) 平成27年12月期通期業績予想

(単位：億円)

	前期実績	通期予想	前 期 比	
				為替影響排除後
売上高	8,301	8,400	+1.2%	△2.2%
営業利益	411	500	+21.7%	+20.7%
経常利益	399	460	+15.2%	--
当期純利益	252	340	+35.0%	--

※前回予想（平成27年8月6日開示）から変更ありません。

業績の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれています。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 財政状態

(資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第3四半期末の資産の部は前期末と比べて130億円減少し、7,907億円となりました。債権流動化の減少に伴い売上債権が増加した一方、為替レート変動の影響で資産が減少したためです。負債の部は、支払債務及び有利子負債が減少し、前期末比139億円減の5,131億円となりました。また、純資産の部は、四半期純利益を計上した一方、為替レート変動の影響等により前期末比9億円増の2,776億円となりました。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が404百万円増加し、退職給付に係る資産が3,346百万円、利益剰余金が2,316百万円、それぞれ減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,757	22,421
受取手形及び売掛金	213,867	217,624
商品及び製品	91,614	89,378
仕掛品	9,786	9,516
原材料及び貯蔵品	57,429	56,529
その他	32,930	30,394
貸倒引当金	△9,903	△10,366
流動資産合計	412,480	415,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	96,416	94,633
機械装置及び運搬具(純額)	72,883	70,247
工具、器具及び備品(純額)	9,363	9,416
土地	53,272	51,261
建設仮勘定	10,003	9,551
有形固定資産合計	241,937	235,108
無形固定資産		
のれん	1,365	1,030
ソフトウェア	8,610	7,173
その他	3,336	3,945
無形固定資産合計	13,311	12,148
投資その他の資産		
投資有価証券	39,475	35,115
退職給付に係る資産	26,002	25,593
その他	71,087	67,700
貸倒引当金	△589	△421
投資その他の資産合計	135,975	127,987
固定資産合計	391,223	375,243
資産合計	803,703	790,739

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,996	101,798
短期借入金	90,730	85,969
コマーシャル・ペーパー	—	8,000
1年内償還予定の社債	10,000	3,000
未払法人税等	3,252	5,790
賞与引当金	6,659	5,911
災害損失引当金	49	4
環境対策引当金	1,817	1,817
その他	66,989	70,372
流動負債合計	291,492	282,661
固定負債		
社債	8,000	25,000
長期借入金	159,772	145,021
退職給付に係る負債	39,380	35,201
資産除去債務	1,042	1,191
その他	27,294	24,028
固定負債合計	235,488	230,441
負債合計	526,980	513,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,557	96,557
資本剰余金	94,161	94,161
利益剰余金	108,726	122,671
自己株式	△896	△906
株主資本合計	298,548	312,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,914	2,898
繰延ヘッジ損益	△178	49
為替換算調整勘定	△14,817	△31,103
退職給付に係る調整累計額	△36,718	△33,554
その他の包括利益累計額合計	△48,799	△61,710
少数株主持分	26,974	26,864
純資産合計	276,723	277,637
負債純資産合計	803,703	790,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	614,528	616,426
売上原価	487,906	478,795
売上総利益	126,622	137,631
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	32,627	33,766
貸倒引当金繰入額	1,627	1,197
賞与引当金繰入額	3,520	3,381
退職給付費用	2,185	1,399
その他	56,988	60,987
販売費及び一般管理費合計	96,947	100,730
営業利益	29,675	36,901
営業外収益		
受取利息	1,280	888
受取配当金	320	309
持分法による投資利益	2,250	2,077
その他	2,394	1,608
営業外収益合計	6,244	4,882
営業外費用		
支払利息	5,156	4,211
為替差損	111	260
その他	2,171	1,760
営業外費用合計	7,438	6,231
経常利益	28,481	35,552
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	—	2,723
固定資産売却益	434	817
受取補償金	—	708
投資有価証券売却益	—	554
国庫補助金	—	255
負ののれん発生益	371	—
特別利益合計	805	5,057
特別損失		
リストラ関連退職損失	1,101	3,008
固定資産処分損	2,945	1,889
固定資産圧縮損	—	168
減損損失	699	—
特別損失合計	4,745	5,065
税金等調整前四半期純利益	24,541	35,544
法人税等	7,473	10,956
少数株主損益調整前四半期純利益	17,068	24,588
少数株主利益	630	1,594
四半期純利益	16,438	22,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,068	24,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	278	11
繰延ヘッジ損益	256	224
為替換算調整勘定	5,070	△15,578
退職給付に係る調整額	273	3,197
持分法適用会社に対する持分相当額	726	△1,401
その他の包括利益合計	6,603	△13,547
四半期包括利益	23,671	11,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,716	10,083
少数株主に係る四半期包括利益	955	958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	プリンティン グインキ	ファイン ケミカル	ポリマ	アプリケー ションマテリ アルズ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	306,112	76,419	138,996	92,032	613,559	969	614,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26,804	2,395	—	29,199	—	29,199
計	306,112	103,223	141,391	92,032	642,758	969	643,727
セグメント利益	11,925	10,266	5,548	5,357	33,096	24	33,120

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	33,096
「その他」の区分の利益	24
全社費用(注)	△3,445
四半期連結損益計算書の営業利益	29,675

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間においては、「ポリマ」セグメントにおいて699百万円の減損損失を計上していません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間においては、「ポリマ」セグメントにおいて371百万円の負ののれん発生益を計上していません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	プリンティン グインキ	ファイン ケミカル	ポリマ	アプリケーシ ョンマテリア ルズ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	306,242	80,087	139,785	89,297	615,411	1,015	616,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	29,922	2,176	—	32,098	—	32,098
計	306,242	110,009	141,961	89,297	647,509	1,015	648,524
セグメント利益	13,097	10,451	10,631	6,214	40,393	140	40,533

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	40,393
「その他」の区分の利益	140
全社費用（注）	△3,632
四半期連結損益計算書の営業利益	36,901

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用であります。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年11月13日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得および消却を行う理由

株主還元の更なる拡充を図るため

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 19,000,000株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.0%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 5,000,000,000円 (上限) |
| (4) 取得期間 | 平成27年11月19日から平成27年12月28日 |
| (5) 取得方法 | 信託方式による市場買付 |

3. 消却に係る事項の内容

- | | |
|---------------|-------------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の数 | 上記2により取得した自己株式の全数 |
| (3) 消却予定日 | 平成28年1月中 |

(ご参考) 平成27年9月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	961,895,259株
自己株式数	3,476,789株